

# いま!この一冊!



## 『中高生の防災ブック』

—今からできる自分の命の守り方—

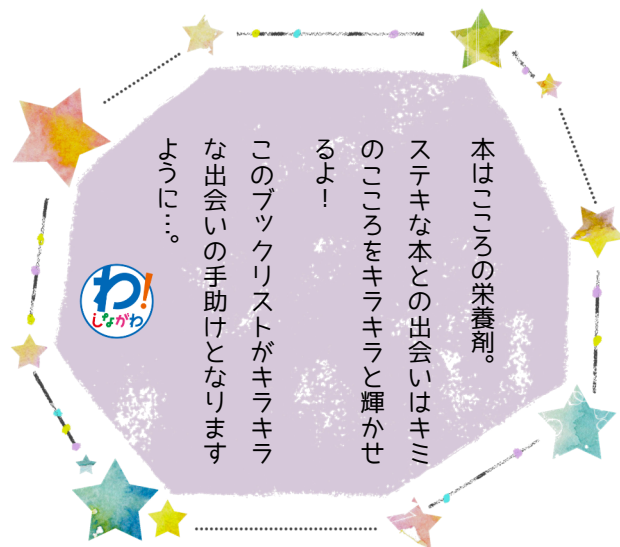
著/益田美樹

Y366/ナ

ペリかん社

災害意識を高めることで、災害が起こった時の被害を減らすことができます。この本は、災害がどうやって起こるのか、災害が起こる前に何をどう備えておけばいいのか、実際に災害が起こったら、どのような避難行動を取ればよいかなど、防災力を高めるガイドブックでありワークブックです。

いつ、何がおこるかわからない今日このごろ、災害に備えることはとても大切です。緊急事態が起こったときの避難場所などについてまだ家族で話し合っていない方は、ぜひこれを機会に決めておくようにしましょう。また、災害グッズの準備なども確認して、いざというときに備えましょう。住んでいる地域にはどれぐらいの防災力があるのかを確認することも忘れずに。



## 図書館おすすめブックリスト



キラ  
キミのこころに☆めきを…

中学生



## 『空と星と風の歌』

こでまり  
作/小手鞠るい

Y913/コ

りまこ  
絵/堀川理万子  
童心社

在日朝鮮人2世の男性との出会いによって、父の存在や差別について考えはじめるようになった中学生の空奈。母が韓国人である、ただそれだけの理由でいじめられた中学生の美星。留学先のアメリカで障がい者に対する意識のちがいを見せつけられた車椅子で生活をする風太。3人の物語は、ある在日韓国人の少女が遺した詩集『空と星と風の歌』でつながっていた。差別という心のモヤモヤに訴えかける渾身の一冊。

2024年春号

編集・発行：五反田図書館

『ルール!』

Y913/7

著/工藤純子 講談社



生まれつき髪型がモヒカンのように見える晃太郎、赤茶色の髪をした友樹、姉からの急ぎの依頼でスマホを使ったことをとがめられた知里。3人の中学2年生の文芸部員たちは、理不尽な校則を変えようと立ち上がるが…。はたして中学生の手で校則を変えることはできるのでしょうか。

『わたしたち地球クラブ』

Y933/7

著/キャリー・ファイアストーン 訳/服部理佳 小学館



フィッシャー中学では特別プログラム「地球クラス」が実施されることに。この授業では「気候変動」について学びます。このクラスに選ばれたのは、SDGsについて関心の高い9名。どうすれば地球の自然や資源を守ることができるのか考えます。環境問題を考える入門書としてもおすすめの1冊。

『杉森くんを殺すには』

Y913/8

作/長谷川まりる くもん出版



高校1年生のヒロは、友だちの杉森くんを殺すことにした。その決意を伝えるために、兄のミトさんに電話をかける。ミトさんは「今のうちにやりのこしたことをやっておくこと、どうして杉森くんを殺すことにしたのか、きちんと言葉にしておくこと」を助言する。ヒロはこのアドバイスを実践しながら、杉森くんのことを回想していく…。

『車いすでジャンプ!』

Y933/0

作/モカ・ロー 訳/中井はるの 小学館



車いすで学校生活を送る12歳のエミー。車いすのモトクロス選手にあこがれ、自宅の庭のジャンプ台で練習にはげんでいる。モトクロス用の高性能な車いすを購入するため、親友のアレエと手づくりグッズの販売をはじめめる。しかし、エミーは学校で転倒してしまう。学校の対応によって友だちや家族との関係にヒビが入っていき…。

『G65』

Y913/1

作/石川宏千花 さ・え・ら書房



胸が大きいことを悩んでいる14歳の貴和。ある事件に巻きこまれ、叔母の家に身を寄せ、目立たないように新しい学校生活を送っている。そんな貴和を支えているのは、叔母や保健室の先生だけではない。推しの女優やブラジャーの存在も、貴和をやさしく見守っていた。貴和はコンプレックスを乗り越えて前向きに生きていくことができるのでしょうか。

『インサイド この壁の向こうへ』

Y913/9

著/佐藤まどか 詩山社



住む場所や服装などを区別され、階級社会となったある都市国家で階級の違う6人の少年少女がある施設に集められた。共通点は「不適切な行動」。しかし、いったいどんな目的が隠されているのだろうか。6人は自分たちの未来を変えるため、道を切り開いていこうとするが…。

『ようこそ!富士山測候所へ』

Y451/8

日本のてっぺんで科学の最前線に挑む

著/長谷川 敦 旬報社



100年以上前からはじまった富士山での気象観測。人工衛星などの最新技術の発達でその役割を終える予定でしたが、「ここでしかできない研究」を続けるため、科学者たちが立ち上がりました。そんな富士山測候所で行われている研究とはいったいどんな研究なのでしょうか。

『キオクがない!』

Y913/1

作/いとうみく 絵/平沢下戸 文研出版



目が覚めたら病室にいた中学2年生の笑喜孝太郎。交通事故に遭い、記憶を失ってしまった。他人行儀な家族、よそよそしいクラスメイトたち…。記憶を失う前の自分はいったいどんな人間だったのだろう。孝太郎は少しずつ自分自身について探っていくが…。

『芥川龍之介の桃太郎』

Y E/7

文/芥川龍之介 画/寺門孝之 河出書房新社



悪い鬼を退治しにいくおとぎ話の桃太郎とはまったく異なる芥川龍之介の桃太郎。平和な鬼ヶ島にワルの桃太郎が征伐に行くのだが…。現代を風刺する内容にピッタリ合った絵が印象的なおとなの絵本です。